

令和元年度 事業報告

「文化芸術で歓びと希望を感じるまちづくり」の運営理念のもと、入間市文化創造アトリエの指定管理業務及び法人独自の事業を展開した。

しかしながら今年度、夏は強風で夏フェスタの出店が、秋は台風19号でクラフトフェアが中止となり、3月には新型コロナウイルス感染症の拡大防止によるイベント自粛の影響で、7事業が中止となった。その一つ一つの事業は、ディレクターはじめスタッフの思いと共にアーティストと内容を練り込んで企画したもので、とても無念な思いであった。来年度以降、必ず実現できるよう計画したい。

1. 文化創造事業の概要

事業実施に当たっては「プラン推進会議」で計画を共有し、「ひとづくり」「魅力づくり」「芽づくり」「まちづくり」の各事業をディレクター、スタッフが協調して行った。事業計画は、単年度ではなく長期的な視点に立ち運営方針に沿って立案している。事業は、気象状況や新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったものもあるが、新規の事業も加わり多くの方に文化芸術を享受していただけたと思う。

また、埼玉県が推進する、2020年以降を見据え次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラム「beyond2020プログラム」の認証に対応し、「アートな春フェス2019」事業を申請し受理された。国、県の方針に沿い積極的に今後も「beyond2020プログラム」に参加していきたい。

【指定管理における文化創造事業】

事業計画は、市民の運営を基本とするアトリエ設置条例と運営方針に基づき、各分野のディレクターと事務局が企画立案し実施した。

事業別については下記のとおりである。

①「ひとづくり」事業では、文化芸術に関心を持つ方、それを支えるスタッフなどを積極的に育てていく企画を行っている。「アート散歩」では、直接美術館などを訪ね、アートに関する歴史や鑑賞法を学ぶという企画で、本年は平塚市美術館と町田市立国際版画美術館を訪問した。その他、将来のディレクター候補の発掘と育成、公演などに当たって案内や誘導、終演後の撤収など運営に関わるスタッフの育成を行った。

②「魅力づくり」事業では、「のこぎり屋根の音楽会～アフターコンサート～」で気軽な音楽機会を提供し、「アミーゴライブ」「落語会」「夕涼みライブ」「おいしい朝コンサート」など上質な文化芸術を鑑賞する機会を提供してきた。人間国宝の山本東次郎師を迎える「いるま狂言会」は18回を数えた。地域産業である染織体験工房も継続して実施した。魅力あるアミーゴ、入間をアピールすることができた。

③「芽づくり」事業では、「ドラマ工房」「アート事業」などを実施した。「ドラマ工房」は、公募市民で作る「劇団アミーゴ」の稽古を通し、入間市博物館で「加治氏の理」を上演したほか、中学生の授業の一環として織物産業をテーマに10minシアターの公演を行った。残念ながらコロナウイルスの影響で本公演「衣海」は来年度に延期となった。「アート事業」では、大人対象の「アート講座」、子ども対象の「遊び場アートスタジオ」を実施した。

④「まちづくり」事業では、文化芸術を通じた地域との関係づくりを重視して「アートな春フェス」を開催した。6度目の取り組みで、プロのアーティストがホールや館庭を利用し展示とワークショップを行い、アミーゴの春をアートで楽しんだ。やはり館庭を利用し、毎年多くの来場者で賑わう「クラフトフェア」は、残念ながら台風19号の影響で中止となった。その他、パートナー事業として地元企業と連携したコンサートや落語会を開催した。今後も他団体との連携で文化芸術の振興と社会貢献活動を推進していきたい。

[法人独自の文化創造事業]

指定管理業務である文化創造事業のほか、長年培った事業ノウハウをもって、多くのNPO法人独自の事業を行った。

学校対象に「古典芸能鑑賞会(箏&尺八)」、「織物とアミーゴの歴史学習会」を開催。子ども対象に子どもゆめ基金の助成を受けた「Fun! AMIGO! 体験ひろば」「アミーゴハロウィン」、埼玉県文化振興基金の助成で「声優体験 ちびまる子ちゃんのアフレコをやってみよう」を行った。

また、入間市役所ロビーコンサートや入間市観光協会と「駅前コンサート~TastyなXmasコンサート~」事業を行い成果があった。

その他、「落語会」「コンサート」などアウトリーチ事業、北中野地区敬老会、西武5区敬老会の支援、埼玉県西部地域振興センター主催のスタンプラリー参加、埼玉県芸術文化ふるさと交流フェア参加など多彩に活動を行った。

残念ながら、3月に3公民館で行う予定であった「公民館落語会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

2. アトリエ施設管理事業（指定管理事業）

①施設運営

市民ニーズに対応した窓口サービスを心がけ、利便性を考えた貸館運営を行った。

3月は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業の中止や貸館キャンセルなどが発生し、多くのお客様に迷惑をかけた。また、そのための事務作業や窓口対応に追われたが、職員、ディレクターはじめ関係者の連携協力で大きな問題もなく業務が遂行できた。

②見学等対応

希望する団体に施設及び運営の説明紹介を行った。(8団体)

③修繕、清掃美化

- ・来館者、利用者の安心安全の確保とアメニティー空間を確保するため、施設の修繕、清掃美化に努めた。

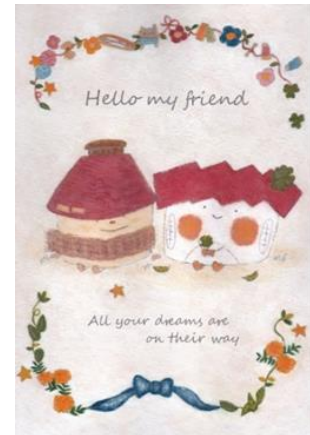
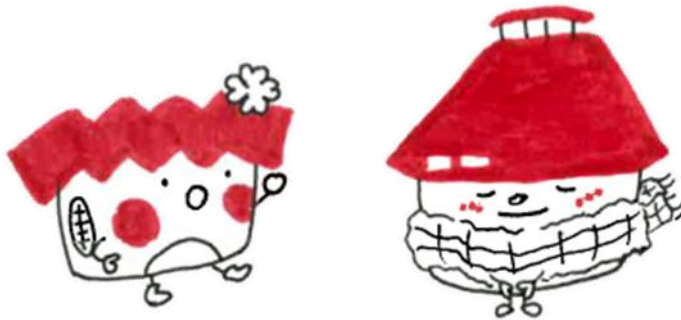
- ・ガーデンボランティア活動

館庭美化のため、ボランティアにより除草作業を春から秋にかけて月2回程度11回行った。その他、個々で都合をつけて除草作業を行うなどボランティアの方のご協力で、館庭の美化が図られた。

3. 広報活動

- ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどによる情報提供を常時行った。
- ・広報紙「赤いのこぎり屋根」を5回発行した。
- ・事業チラシを8回、新聞折込みチラシ2回、ミガイト(A5版)4回発行した。

- ・子ども用スタンプラリーを考案、スタンプを製作した。
- ・キャラクター「アミちゃん」「スタジオくん」を作成し、ポストカードなど、広報等に利用。



*このほか様々なメディア、雑誌に取り上げられた。

- ・冊子「東京建物遺産さんぽ」(出版(株)エクスレッジ)に産業・近代化遺産 40 の一つとして掲載。
- ・新聞に記事が掲載。
- ・織物工房体験、茶染め体験情報が情報サイト、雑誌に掲載。
(県 Facebook、ことりっぶ入間さんぽ、るるぶ埼玉)
- ・西武鉄道ウォーキング情報誌掲載。
- ・ミニコミ雑誌に掲載。「ぽど」に文化事業記事掲載。 "

4. 各種会議の開催

総会、理事会、プラン推進会議、評議員会のほかアミーゴ事業の中長期計画を考える全体会議を開催した。

5. その他の活動

①交流会の開催

会員、スタッフの親睦を図り、情報交換の場として交流会を2回(5/21、1/14)行った。

②研修会等の開催と参加

文化創造事業及び施設管理運営の更なる向上を目指して、各種研修を行った。

7月30日 ~31日	火水	(財)地域創造が主催する研修会へ理事監事・事務局が参加した。文化ホールの現状に関するシンポジウム、アーティストのプレゼンテーションに参加した。(4人)
9月12日	木	スタッフの研修で秩父宮記念市民会館へホール見学に行った。担当職員から施設の案内と事業運営などについてディスカッションした。(参加スタッフ26人)
11月24日	日	埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム(埼玉県教育委員会主催)に参加。衛紀生氏(可児市文化会館館長)の講演「芸術文化の社会的役割」とパネルディスカッション「若い世代の成長に芸術文化が寄与できること」に参加。(1人)

③ボランティアの受け入れ

大妻女子大学児童学科の学生をアミーゴの子ども対象事業「8/24Fun!AMIGO!科学館&音楽館」にボランティアとして受け入れた。(3人)